



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月27日

上場取引所 東 大

上場会社名 宝ホールディングス株式会社

コード番号 2531 URL <http://www.takara.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柿本 敏男

問合せ先責任者 (役職名) 財務・IR部長

(氏名) 掛見 卓也

TEL 075-241-5124

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	47,349	△3.1	1,061	△36.2	1,156	△38.7	△90	—
24年3月期第1四半期	48,866	9.7	1,664	49.7	1,887	61.7	499	39.8

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 1,072百万円 (2.2%) 24年3月期第1四半期 1,049百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△0.44	—
24年3月期第1四半期	2.40	2.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	207,226	106,839	45.2
24年3月期	197,437	107,659	48.0

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 93,585百万円 24年3月期 94,783百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	9.00	9.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	95,100	△0.4	2,600	△21.8	2,600	△24.7	1,200	25.0	5.84
通期	202,800	2.1	9,500	2.5	9,650	0.3	4,600	15.1	22.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	217,699,743 株	24年3月期	217,699,743 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	12,281,107 株	24年3月期	12,277,683 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	205,419,492 株	24年3月期1Q	207,627,319 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成24年5月9日発表の連結業績予想の見直しは行っておりません。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

○ 第1四半期決算短信補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかに持ち直しつつあるものの、デフレの継続や長期化する円高、欧州債務問題等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループでは、長期経営ビジョン「TaKaRaグループ・ビジョン2020」の実現へ向け、「国内での安定成長を実現するとともに、海外で大きく成長するための事業基盤を拡大する」ことを基本方針とする3カ年の中期経営計画「TaKaRaグループ中期経営計画2013」のもと、環境変化に強いバランスのとれた事業構造を構築することで更なるグループ企業価値の向上を目指しております。

国内酒類事業においては、多様化する消費者嗜好に対応したオリジナリティある新製品の開発やブランド育成に注力し、また調味料・酒精事業においても顧客企業に対し、差別化された、ユーザーニーズに応える商品提案を行うことにより、売上高の拡大を図っております。

海外酒類事業、海外における日本食材卸事業については、両事業を通じて日本食文化を世界に広げることによって事業成長を加速させることを目指しております。

遺伝子工学研究事業では、市場の伸びが期待できるリアルタイムPCRや細胞生物学分野へ積極的に新製品・サービスを提供するとともに、遺伝子医療事業では、遺伝子治療、細胞医療の臨床開発を積極的に推進しております。また健康食品事業でも事業拡大に努めております。

当第1四半期の連結売上高は、前第1四半期に震災に起因する一時的な売上増加が発生した反動などから前年同期比96.9%の47,349百万円となり、売上総利益も同96.9%の18,273百万円となりました。

販売費及び一般管理費では、運送費が減少したものの販売促進費が増加したことなどにより前年同期比100.1%の17,212百万円となり、営業利益は、同63.8%の1,061百万円となりました。

営業外損益では、受取配当金や不動産賃貸料などの営業外収益が減少し、社債発行に伴い社債利息や社債発行費用などの営業外費用が増加しましたので、経常利益は前年同期比61.3%の1,156百万円となりました。

特別損益では、株価下落の影響を受け投資有価証券評価損697百万円を特別損失に計上したことなどにより、税金等調整前四半期純利益は前年同期比40.1%の434百万円となり、四半期純損失は90百万円となりました。

セグメントの業績の概要は次の通りであります。

[宝酒造グループ]

当セグメントの中核である宝酒造株式会社では、平成23年3月期末に震災直後の混乱から出荷不能であった製品を前第1四半期に出荷したことによって当該期間の売上高が一時的に増加しており、その反動もあり当第1四半期の売上高は減少いたしました。この結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比95.9%の42,291百万円となりました。

品種別には、焼酎では、発売100周年を迎えた宝焼酎の積極的なプロモーション活動を実施し、ソフトアルコール飲料では、＜直搾り＞シリーズの新製品を発売しました。ソフトアルコール飲料の＜焼酎ハイボール＞は引き続き好調に売上を伸ばしていますが、上述の震災に起因する特殊要因の反動などから、焼酎およびソフトアルコール飲料の売上高は減少しました。一方、清酒は、＜松竹梅「天」＞や低アルコールのスパークリング清酒＜松竹梅白壁蔵「霽（みお）」＞などが好調に推移し増収となりました。物流では、当期より新たに連結対象となった子会社の売上が加わり増収となりました。その他では、海外の日本食材卸事業の売上高が増収となりました。

売上原価は、原材料価格の高騰により原価率が上昇し、前年同期比97.1%の27,025百万円となり、売上総利益は前年同期比93.8%の15,266百万円となりました。販売費及び一般管理費は、新製品育成のための販売促進活動を積極的に行ったことや、売上商品構成の変化などから販売促進費が増加しましたが、前第1四半期に震災の影響から一時的に運送費が増加していたことの裏返しや、管理費等の減少により、前年同期比99.3%の14,680百万円となりました。

以上の結果、当セグメントの営業利益は前年同期比39.1%の585百万円となりました。

[タカラバイオグループ]

当セグメントの遺伝子工学研究事業においては、研究用試薬の売上高が円高の影響を受けたもの前年同期比で増加し、理化学機器や受託等の減少を補い増収となりました。また遺伝子医療事業では、リンパ球培養用培地・バッグ等の売上高が増加しました。医食品バイオ事業では、健康食品およびキノコの売上高がそれぞれ増加しました。その結果、当セグメントの売上高は前年同期比107.4%の4,104百万円と増収となりました。

売上原価は、原価率の低下により前年同期比93.3%の1,569百万円となり、売上総利益は前年同期比118.5%の2,535百万円となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費等の増加により前年同期比107.8%の2,360百万円となりました。

以上の結果、当セグメントの営業利益は175百万円となりました。

[宝ヘルスケア]

主力の健康食品では、消費者向けの通信販売や企業向けの原料販売およびOEM事業の売上高が増加しましたが、茶飲料PB供給事業の売上高が減少し当セグメントの売上高は前年同期比89.7%の551百万円となりました。

利益面では、原価率は低下しましたが、売上高の減少により、売上総利益は前年同期比93.7%の195百万円となりました。当セグメントは、引き続き事業育成のための広告宣伝費を先行的に投下しているため当第1四半期に営業損失7百万円を計上しておりますが、損益は前年同期より36百万円改善しました。

[その他]

報告セグメント以外の「その他」のセグメントの売上高は、前年同期比94.3%の1,728百万円となり、営業利益は、前年同期比341.8%の45百万円となりました。

品種別販売実績

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	前年同期比
品種	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
宝酒造グループ			
焼酎	19,650	18,192	92.6
清酒	3,829	4,046	105.7
ソフトアルコール飲料	7,543	6,319	83.8
その他酒類	2,631	2,672	101.5
酒類計	33,654	31,230	92.8
本みりん	3,430	3,411	99.4
その他調味料	1,762	1,845	104.7
調味料計	5,193	5,257	101.2
原料用アルコール等	1,677	1,666	99.3
物流	2,136	2,593	121.4
その他	1,455	1,544	106.2
計	44,118	42,291	95.9
タカラバイオグループ	3,823	4,104	107.4
宝ヘルスケア	615	551	89.7
その他	1,833	1,728	94.3
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去	△1,524	△1,327	—
合計	48,866	47,349	96.9

(注) 金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、流動資産が10,662百万円増加し、固定資産が873百万円減少したため前連結会計年度末に比べ9,788百万円増加し、207,226百万円となりました。増加の主な内容は、社債の発行による手元資金(現金及び預金4,492百万円、有価証券3,594百万円)の増加によるものであります。

負債合計も、流動負債が5,884百万円増加し、固定負債が4,725百万円増加したため前連結会計年度末に比べ10,609百万円増加し100,387百万円となりました。増加の主な内容は社債の発行10,000百万円と、1年内償還予定の社債の固定負債から流動負債への振替5,000百万円によるものであります。

純資産合計は、四半期純損失となったことや配当による利益剰余金の減少、上場株式の時価下落によるその他有価証券評価差額金の減少、為替換算調整勘定の増加(マイナスの減少)などにより前連結会計年度末に比べ820百万円減少し、106,839百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期累計期間の業績は、経常利益までは概ね計画通りに進捗しております。特別損失の投資有価証券評価損につきましては、今後の株価の動向によるなど不確定要素も多いこと、また四半期業績予想は公表していないことから平成24年5月9日に公表いたしました業績予想の見直しは行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産のうち、改正前の法人税法に規定する減価償却の方法を採用していたものについて、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,843	35,336
受取手形及び売掛金	50,721	51,054
有価証券	15,660	19,255
商品及び製品	20,847	21,345
仕掛品	886	1,548
原材料及び貯蔵品	2,747	2,651
その他	4,442	5,618
貸倒引当金	△71	△68
流動資産合計	126,078	136,740
固定資産		
有形固定資産	41,996	42,286
無形固定資産		
のれん	3,531	3,804
その他	1,704	1,708
無形固定資産合計	5,236	5,512
投資その他の資産		
投資有価証券	18,450	16,892
その他	5,895	6,013
貸倒引当金	△219	△220
投資その他の資産合計	24,126	22,685
固定資産合計	71,359	70,485
資産合計	197,437	207,226
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,976	12,725
短期借入金	5,018	4,831
1年内償還予定の社債	5,000	10,000
未払酒税	10,589	11,873
未払費用	3,977	4,461
未払法人税等	2,207	802
賞与引当金	2,005	3,089
その他の引当金	1,731	1,916
その他	6,740	7,430
流動負債合計	51,247	57,131
固定負債		
社債	20,000	25,000
長期借入金	496	509
退職給付引当金	9,625	9,631
長期預り金	5,881	5,859
その他	2,527	2,254
固定負債合計	38,530	43,255
負債合計	89,777	100,387

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	3,195	3,195
利益剰余金	88,012	86,071
自己株式	△6,922	△6,924
株主資本合計	97,512	95,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,805	2,229
繰延ヘッジ損益	△17	△24
為替換算調整勘定	△5,516	△4,188
その他の包括利益累計額合計	△2,728	△1,983
少数株主持分	12,876	13,254
純資産合計	107,659	106,839
負債純資産合計	197,437	207,226

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	48,866	47,349
売上原価	30,007	29,075
売上総利益	18,859	18,273
販売費及び一般管理費	17,194	17,212
営業利益	1,664	1,061
営業外収益		
受取配当金	199	185
その他	193	187
営業外収益合計	392	372
営業外費用		
支払利息	126	136
社債発行費	—	76
その他	42	64
営業外費用合計	168	278
経常利益	1,887	1,156
特別利益		
固定資産売却益	7	24
特別利益合計	7	24
特別損失		
災害による損失	701	—
投資有価証券評価損	39	697
その他	68	48
特別損失合計	809	745
税金等調整前四半期純利益	1,085	434
法人税、住民税及び事業税	890	840
法人税等調整額	△334	△389
法人税等合計	555	450
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	529	△15
少数株主利益	30	74
四半期純利益又は四半期純損失(△)	499	△90

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	529	△15
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△381	△578
繰延ヘッジ損益	2	△5
為替換算調整勘定	904	1,653
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	18
その他の包括利益合計	519	1,088
四半期包括利益	1,049	1,072
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	855	654
少数株主に係る四半期包括利益	193	417

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造 グループ	タカラバ イオグル ープ	宝ヘルス ケア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	43,864	3,728	614	48,207	574	48,781	84	48,866
セグメント間の内部 売上高又は振替高	253	95	1	349	1,259	1,608	△1,608	—
計	44,118	3,823	615	48,556	1,833	50,390	△1,524	48,866
セグメント利益又は損 失(△)	1,496	△48	△43	1,405	13	1,418	245	1,664

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷事業などの機能会社グループであります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益の調整額245百万円には、セグメント間取引消去33百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益212百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造 グループ	タカラバ イオグル ープ	宝ヘルス ケア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	42,122	3,966	550	46,639	600	47,240	109	47,349
セグメント間の内部 売上高又は振替高	169	138	1	309	1,127	1,436	△1,436	—
計	42,291	4,104	551	46,948	1,728	48,676	△1,327	47,349
セグメント利益又は損 失(△)	585	175	△7	754	45	799	261	1,061

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷事業などの機能会社グループであります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益の調整額261百万円には、セグメント間取引消去43百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益218百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。